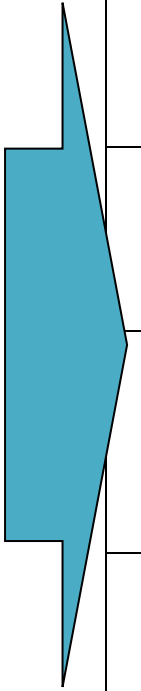


令和7年度 授業改善推進プラン【1年】

小平市立小平第十四小学校

振返りの視点			児童の実態	指導上の課題
学校経営目標（短期）	学力向上	主体的・対話的で深い学びの実現	○疑問に思ったことや興味をもったことを解決しようとする意欲が高い。 △課題を意識しながら、積極的に交流を行う。	・自分の考えを、絵や図、式、言葉など、様々な方法で表現する力の育成。 ・情報を受け取り、活用する力の育成。
		基礎学力の定着	○読み書きや計算に積極的に取り組んでいる。 △促音や拗音を正しく使う。	・初見の文章でも、スムーズに読むことができる力の育成。 ・自分が考えたことを表現する力の育成。
		体力の向上 運動への関心・意欲の向上	○きまりを守り、友達と仲よくすすんで運動に取り組んでいる。 △めあてを意識して運動に取り組む。	・各種の運動遊びの楽しさに触れる場の設定。 ・めあてに向けて工夫する力の育成。
	健全育成	道徳教育の推進 異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進	○友達と仲よくしたいという気持ちをもっている。 △集団生活や遊びの中で、ルールを守り、自治的な活動を行う。	・自己の欲求と集団生活との折り合いを付ける力の育成。 ・その場に応じた適切な言葉遣いや行動の育成。



教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
国語	1 語彙力を高める活動の充実 2 書くことの充実 3 読書活動の充実	・ <u>言葉集めなどの活動を行い、語彙を増やす。</u>  ・ <u>文章の視写をする時間を定期的に設け、拗音や促音の書き方を習得する。</u> ・ノートや日記指導を行い、自分の考えを表現できるようにする。 ・読み聞かせや読書指導と並行して、週に一回程度、学校図書館を活用する。	
	1 数や図形の概念の定着。計算の習熟。 2 個別支援の充実 3 ノートの取り方や発表の仕方	・ <u>具体物、半具体物や計算カード等を使った計算練習を継続的に行う。</u> ・学習補助員と連携し、個に応じた支援を充実させる。 ・ <u>「まず」「次に」「だから」等、具体的な話型を示し、思考に筋道を付けることに慣れさせる。</u> ・ <u>ロイロノートのカード機能を活用し、思考の可視化を図る。</u>	
	1 地域参画型授業の充実 2 学び・遊びの交流や発信	・家族や地域の大人など、 <u>身近な大人から話を聞く機会</u> を設ける。 ・気付きと活動を繰り返し、協働的な学びの場を意図的、計画的に設定する。	
音楽	1 表現活動の工夫 2 鑑賞活動の充実	・ <u>まねっこ遊びやリレーなどで楽しみながら歌ったり、演奏したりする活動</u> を多く設定し、表現することに慣れ親しむ。  ・ <u>曲に合わせて体を動かしたり、リズムに合わせて手拍子をしたりして楽しみながら曲想を感じ取る。</u>	
	1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実	・ <u>様々な表現方法や素材に触れ合うことで</u> 、児童の意欲や発想を高めるようにする。 ・ <u>作品を鑑賞し合うことで</u> 、他者の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かすことができるようにする。	
体育	1 運動遊びの楽しさに触れる 2 帯活動による体力向上	・ <u>各種の運動遊びに親しみ、個に応じためあてを達成させるために、ルールや場の設定を工夫する。</u>  ・ <u>単元を通して必要な感覚作りの運動</u> に取り組む。	
	1 授業形態の工夫 2 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成	・ <u>ペアやグループ、学級など、交流の場を設定する。</u> ・ <u>児童の多様な考えを引き出す発問を精選する。</u>  ・学期に1回以上、生命尊重やいじめ防止を扱った授業を行う。 ・教材や交流を通して、自己を見つめる場を設定する。	
学級活動	1 実践につながる話し合い活動の充実 2 きょうだい学級等の関わり	・学級会では、 <u>司会グループの輪番制</u> 、折り合いを付ける集団決定など、自主的、実践的な話し合いを経験させる。  ・意図的に異学年交流の機会を設定する。	